

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月20日更新

事務事業名	子どもの読書活動推進事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	牧野 淳一
	施策	4	子育て支援の充実			所属課	生涯学習課	担当者名	山田 唯途
	施策の柱	17	地域における子育て支援			所属班	生涯学習班	(内線)	1514
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 8	事業連番 10600	根拠法令			
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書活動推進法が平成13年12月に制定され、各自治体での読書活動の推進が義務づけられた。 24年度予算から紙芝居実施事業、春の夜の図書館読書探検隊、夏休みスペシャルおはなし会、お父さんお母さんのための読み聞かせ塾、あかちゃんのためのおはなし会、あかちゃん講座等の事業を統合した。 24年度予算から事業名を「子どもの読書活動推進講座実施事業」から「子どもの読書活動推進事業」に変更した。 <p>平成29年度より合志市立図書館の指定管理者制度が導入されるため、主な事業は指定管理に移行され、「子ども読書活動推進計画策定」と「合志市童話発表大会」の2事業のみ市の事業とする。</p>
【業務の流れ】	合志市童話発表大会開催（発表者選考依頼・審査員依頼・会場準備・実施・郡市大会へ推薦）
【主な予算費目】	推進計画策定委員報酬・費用弁償、文書送付（役務費）、童話発表大会審査員謝礼・発表者記念品（報償費）、賞状用紙購入（消耗品費）、
【意見や要望】	児童の増加に伴い、発表児童数が増え、半日で童話発表大会を終了することが困難になっているので、各学校の代表児童数を見直す必要がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動)	3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
7月に合志市童話発表大会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。また、今後の童話発表大会についても、子どもの読書活動に一定の成果があったため終了を決定した。		事業終了
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア: 合志市童話発表大会発表児童数		事業を終了したことによる減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市内の乳幼児から小中学生・家庭、学校・幼稚園・子どもに関わるすべての大人		→ ア: 合志市民
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) %	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
乳幼児からすべての大人が、子どもにとっての「読み聞かせ」や「手遊び」などにふれあい、積極的に子どもの豊かな心を育むようにする。子どもが自発的に読書に取り組んだり、お話しの世界に触れることにより読書への興味・関心を高める。		→ ア: 子どもの読書活動推進計画実態調査の「出来た」の割合
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・講座参加者数より、合志市内在住の子どもや保護者等が、豊かな言葉や感性を磨くことの大切さや、読書の意義について学ぶ機会を得たか把握するため。		全体計画
・周知方法の改善により多くの参加が望まれるため。		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度予定	6年度見込	7年度見込	
① 活動指標	人		20	0	20	0	0	0	0	0	
② 対象指標	人		62,707	63,189	63,600	63,841	0	0	0	0	
③ 成果指標	%		90	100	100	100	0	0	0	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	(A) 事業費計	千円	36	0	26	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	2	0	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	335	130	110	0	0	0	0	0
(B) 人件費計	千円	1,327	512	438	0	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,363	512	464	0	0	0	0	0		

事務事業名	子どもの読書活動推進事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 事業終了	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 事業終了	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 事業終了	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 事業終了	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 図書館・学校と連携し実施したためこれ以上の削減はできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 事業終了	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 事業終了	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

事業終了

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					